



発行所
公益社団法人 国民文化研究会
(九州←東京←全国)
東京都渋谷区東1-13-1-402
振替 00170-1-60507
電話 03-5468-6230
F A X 03-5468-1470
http://www.kokubunken.or.jp/
E-mail: info@kokubunken.or.jp
月刊「国民同胞」編集部
毎月一回10日発行
購読料 年間2000円

早期の総理勇退と有志議員の奮起を望む

—日本の国柄を守る自民党であるために—

理事長 小柳志乃夫

昨秋、石破茂氏が「ルールを守る」日本を守る」等を公約に掲げて総裁選に当選し、それ以降、惨憺たる政治状況が続いている。首相就任直後の衆院解散による総選挙に大敗して、しかもその責任を取らず、国会運営の枢要ポストを立憲民主党に委ねて、未だに「政治と金」の論議が続くなど混乱状態にある。憲法改正、皇位の安定的継承等の国家的課題解決は遠のいて、逆に選択的夫婦別姓制度の導入が危惧される状況である。

国会論戦のしぶとさこそ見られるものの、難局を委ねるには足りない。早期の首相退陣を切望する。以上、本紙一月号にしては、余りに暗澹たる話になるので、新年らしい話題に切り替へたい。

一方で、国際情勢の動きは激しく、トランプ新大統領や覇権中国との対応を始め、強いリーダーシップと海外首脳との円滑なコミュニケーションが求められておるが、これに必ずや首相の外交力が心もとないことも露呈した。

総裁選の時と首相就任後での言行不一致によって国民の信を失ひ、

一月一日である。正月の歌ですぐに思ひ出すのは、唱歌「一月一日」である。

迷状態にある。憲法改正、皇位の安定的継承等の国家的課題解決は遠のいて、逆に選択的夫婦別姓制度の導入が危惧される状況である。

例として、終なき世の松竹立てて めでたさを門ごとに 祝ふ今日こそ 楽しけれ 四方に輝く 今朝の空 君がみかげに 尊とけれ 仰ぎ見るこそ 尊とけれ

他方で、国際情勢の動きは激しく、トランプ新大統領や覇権中国との対応を始め、強いリーダーシップと海外首脳との円滑なコミュニケーションが求められておるが、これに必ずや首相の外交力が心もとないことも露呈した。

作詞は千家尊福(神官・政治家、第六十四代出雲大社宮司)、作曲は上真行(雅楽家)で、金田一春彦・安西愛子編『日本の唱歌』によると、明治二十六年八月に唱歌として公認された。同書解説には「第二次世界

大戦以前、一月一日に小・中学校の生徒は学校へ集まって式に参列し、みんなでこの歌を斉唱し、落雁のお菓子をもらって帰宅したのだった。したがって昔の人にはお正月とは切っても切れない思い出の歌である」とあり、曲は「はなはだ歌いやすく」「小学校一年生にも歌えるものをとの配慮の現れであろう」と記してゐる。

この歌は私たちの戦後世代にもよく知られてゐて、テレビの「新春かくし芸大会」のテーマソングで、正月の賑やかな楽しい歌として親しまれた。といつても、私自身よく味はつてゐたわけではなく、後年になって、その歌詞の意味を考へて、明治の御代の姿を改めて思ひ起した次第である。凡その意味をとると、

一、年始の恒例行事として／永久に続く御代をことほぎ／松竹の飾りを家々の門前に掲げて／お祝ひする今日は楽しいことだ

二、元旦初日の光がさして／四方を照らし輝く今朝の空／その空に輝く陽光を天子様のお姿にたぐへて／仰ぎみることはいかにも尊いことだ

とならうか。「終りなき世」は、実に「君が代は千代に八千代に」「天皇陛下万歳」と一つの心であ

り、天照大御神のご子孫である皇位の永続を信じ、天皇のご健康とご長寿をことほぎ祈る日本の国民の祝福の声である。前書解説によると、二番の歌詞の出だしは、当初は「初日のひかり明らかく／治まる御代の今朝のそら」と「明治」の御代を指し示したものであったといふ。国民が心一つに明治天皇の御代をことほぎ、家族も近所の人々も皆が和んで正月を迎へる、さういふ、つましくも輝いた姿が思ひ起される。平成三十一年四月一日、新元号「令和」発表の日もまた、東京は快晴であった。「初春の令月にして気清く風和ぎ…」の典故に相応しい日和で、町を行く人々の表情も明るく輝いてみえた。記者会見で安倍総理は「我が国の悠久の歴史、薫り高き文化、そして四季折々の美しい自然、こうした日本の国柄はしっかりと次の時代にも引き継いでいくべきもの」と述べた。

この日本の国柄を尊ぶ自民党リーダーの速やかな登場を望む。失礼ながら石破首相のもとでは、多くの国民の心は晴れまい。正統の男系による皇位の継承とともに、親子が相睦ぶ家族といふわが国文化伝統の根幹をゆるがせにするやうな自民党の総理は御免蒙りたい。

この日本の国柄を尊ぶ自民党リーダーの速やかな登場を望む。失礼ながら石破首相のもとでは、多くの国民の心は晴れまい。正統の男系による皇位の継承とともに、親子が相睦ぶ家族といふわが国文化伝統の根幹をゆるがせにするやうな自民党の総理は御免蒙りたい。